

あけぼの学園人権フェスタまとめ

保育園・幼稚園・こども園・小学校で、
みられるこどもの様子



教室から出ていってしまう子



姿勢が崩れる子



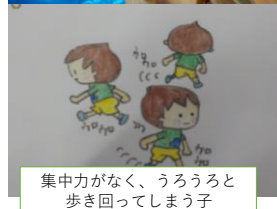
みんなと違う遊びをしている子



自分の思い通りにならないと泣きわめってしまう子



みんなの遊ぶ様子を遠くからみている子



集中力がなく、うろうろと歩き回ってしまう子

でも、このような姿には理由があります。
例えば

目から刺激を受けやすい

自分の体を止めることが苦手
自分の体がどんな風に動いているのかわからない

今、どんな行動をとるといいのかわからない。

いろいろなところに興味が行ってしまふ

身体の感覚がふわふわしている



脳を起こそうとしている。

自分の興味がないことには気持ちが向かない

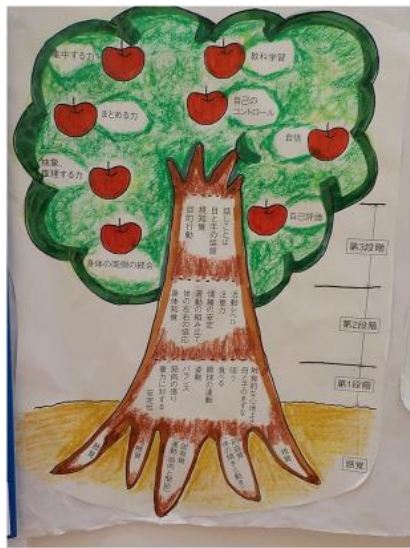
集中力がなく、うろうろと歩き回ってしまう子

などなど

『発達的基础をつくろう』

こどもたちの発達を木に例えると土台の部分は『ねっこ』の部分です。集中する力・自信などの実をつけるためには、ねっこがしっかり地にはり、栄養をたっぷり上に送れるような太いねっこが必要です。学園の遊びは、そんなねっこを作ることができるよう考えています。

<左図> たのしくあそんで感覚統合 佐藤和美著 より抜粋



あけぼの学園では、この土台の力をつけられるように、いろいろな職種が連携をとって、発達支援を行っています。こどもたちは、楽しい遊びの中で、いろいろな感触に触れたり、体を動かしたりすることで成長していきます。また、保護者には、こどもの行動の理由やかかわり方を職員と一緒に考えることで、その子の理解につなげていきます。

一例ですが、下記のように、一人一人のお子さんに合った、「関わり・環境設定・あそび」を考えて、ご家庭、保育園・幼稚園・こども園などとともに、日常生活に活かせるように支援を行っています

・感覚機能の発達を促すあそび

豆遊び
豆を流れる様子、落ちる様子も楽しめます。豆の感触はとても気持ちいいです。

こずってグズ
歌に合わせて、いろいろな感覚がえられる道具を使って、身体をこする遊びです。

ビーズストロー遊び
ソフトな音や感触が楽しめます。つまんで色分けをして、あそんでいます。

紙飛行機遊び
紙飛行機を飛ばしたりして、形を覚えて楽しんでいます。

小まめ・片栗粉
子どもたちの働きかけに、形が変化するので、楽しい素材のひとつです。

水たまり遊び
水たまりを踏みながら遊ぶのも、感覚機能の発達に役立ちます。

シフォン
ふわふわの感触だけでなく、風を感じたり、あそんで遊んだりします。

・運動機能の発達を促すあそび

公園遊び
公園にある遊具や砂山も大人気です。

山を登ったり、駆け下りたり、そりですべったり
山を登ったり、駆け下りたり、そりですべったりします。

シャボン玉
口の機能の発達にとてもいい遊びです。

ボール遊び
ボール遊びは、いろいろな感覚刺激があります。距離を感じながら、自分の身体を保つなど、楽しみの広がっています。

マット遊び
マットにはさまれることで、自分の身体を感じたり、圧を感じて落ちる喜びを感じます。

ボール遊び
ボール遊びは、いろいろな感覚刺激があります。距離を感じながら、自分の身体を保つなど、楽しみの広がっています。

ボール遊び
ボール遊びは、いろいろな感覚刺激があります。距離を感じながら、自分の身体を保つなど、楽しみの広がっています。

・手指を使ったあそび

お花紙や色紙
広告で紙吹雪を作っています。舞い落ちる様子が楽しいです。

ハサミ
ハサミも手の発達に合わせて使っています。

ねじを外したりはめたり
はめたりするの子どもたちは大好きです。

本物の道具を使って
ごっこ遊びをする時、一段と盛り上がりがあります。

いろいろな形や大きさの容器
を上手に使用して、移し替えやつまんで入れるなどしています。

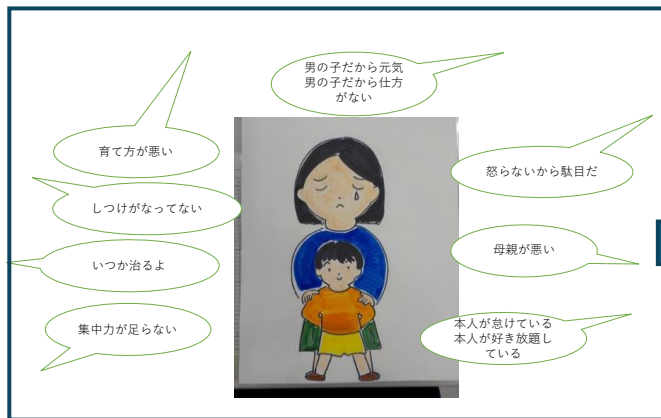
お花紙や色紙
広告で紙吹雪を作っています。舞い落ちる様子が楽しいです。

ハサミ
ハサミも手の発達に合わせて使っています。

ねじを外したりはめたり
はめたりするの子どもたちは大好きです。

本物の道具を使って
ごっこ遊びをする時、一段と盛り上がりがあります。

こどもの姿や行動には理由があり、ひとりずつ、お子さんごとの発達段階に応じて生じていることなのです。それを理解していただくことで、こどもへの見方・感じ方が変わるのではないかと考えています。



周りの方々に理解され、互いに認め合って生活していけたらいいなと思います。そのために、私たちあけぼの学園は、いろいろな場で発信していきたいと思っています。